湘友会報

題字は天野会長

発行責任者
湘南高等学校　湘友会
久保田久作
藤沢市鵠沼819
電話②3140 5759
印刷所
藤沢印刷株式会社

創立40周年記念を迎えて

校舎全景（空中撮影）手前、木館。向う側、落成した中館。

……四十周年記念式典 盛大に挙行される……

母校は、六月八日十時より、中館落成を兼ねて、四十周年記念式典を行った。梅雨空は、ついに晴間を見せなかったが、来賓三百、父兄、在校生、金子藤沢市長が来賓代表として祝辞のべた。柘植PTA会長、熱田定時制会長、千三百名の体育館兼講堂にぱい小串伸夫氏（一回生）が、アラシの激言を引用しての挨拶は、殊に後輩達を傾聴させた。

成報告、祝辞、感謝状贈呈に続いて、直井江南高校長、坂井生徒会長の感謝のことも、一昨年行われた中館落成記念式典の模様を紹介した。

湘友会を代表して 小串氏の感謝の辞

校長の感謝の辞の中には、「PTA功労者、永年勤続職員代表、それぞれ賜品贈呈の松川先生は、明快な口調で赤木精神の合理性をとい

増田実行委員長から感謝状贈呈

県建築部長より、鉄筋三階建、延面積3,820.0m²。総工費六八四〇万円の工事経過報告があり、校長より感謝状記念品が、工事請負人に贈呈された。

中館落成

決意がみなぎり、鈴木教育長は、じゅんじゅん学問を愛する精神をといて感銘を与えた。知事代理の祝辞に続いて、直井江南高校長、金子藤沢市長が来賓代表として祝辞をのべた。柘植PTA会長、熱田定時制会長、坂井生徒会長の感謝のことも、一昨年行われた梅雨空は、ついに晴間を見せなかったが、来賓三百、父兄、在校生千三百名の体育館兼講堂に、ぱい小串伸夫氏（一回生）が、アラシの激言を引用しての挨拶は、殊に後輩達を傾聴させた。

増田実行委員長から感謝状贈呈

金子、小串、郷土、村田氏の創立功労者に対して、遺族代表に感謝状記念品が贈られた。増田実行委員長から学校功労者の遺族代表赤木静彦氏に感謝状記念品が贈られた時に感謝状贈呈式が行われ、講堂と旧寄宿舎の松川先生は、明快な口調で赤木精神の合理性をといた。

（上）増田実行委員長より学校功労者遺族赤木静彦氏に感謝状贈呈
（中）挨拶する香川校長
（中）鈴木県教育長
（下）祝典会場（壇上は小串氏）

湘友会の皆さまへ

学校長　香川幹一

湘友会の皆さん、お元気で活躍、何よりとお慶び申し上げます。

さて昨年行われました湘南高四十周年記念祭は、校舎第二棟の完成とともに、今年に延期されました新校舎は、旧校舎と直角に建てられ、三階建鉄筋コンクリート作り二棟で、ヨ多い旧校舎は逐次取り払われて、講堂と旧寄宿舎は体育館は残ることになっています。

赤木校長の胸像は、新校舎の正面横に移されて、全校シンボルとなっています。

湘友会の皆さまは

創立当時

先生6人に徒生126人

司会　創立当時のもようを一回生の伊原さんから。

伊原　大正十年、校舎ができたのは、第一学期終了の頃でしたか。

石川　われわれの入った時は、まだ肥溜でした。

司会　記録によると、大正十一年四月十日

五十嵐　「日本一の中学生だ……」

石川　私たちが工場勤員したのは、十九年の七月からでしたね。低学年は、農村に疎開排水工事や、高の手伝い……。

番川　私たちが工場勤員したのは、十九年の七月から

五十嵐　白線が入ったのは、その頃でしたか。

石川　われわれの入った時は、まだ肥溜で。

司会　記録によると、大正十一年四月十日

五十嵐　「日本一の中学生だ……」

白線帽子と小倉服

五十嵐　白線が入ったのは、その頃でしたか。

石川　われわれの入った時は、まだ肥溜で。

司会　記録によると、大正十一年四月十日

兼子　博物の時、顕微鏡が壊れたの。

司会　昭和三

先生と生徒で掘ったプール

五十嵐　プールはわれわれが掘ったの。

兼子　私が五年の時。赤木先生が生徒にはっぱをかけてプールを作ろうと。

石川　われわれが掘ったの。

兼子　最初は、ちょっと先生と生徒の手で。

蟹江　設計は大阪、久保田桑名先生。

司会　昭和三

戦時中の勤労動員

司会　戦時中農村に動員される生徒を前にして、赤木校長が、「ガ〜ンとする品が下がるから」で。

兼子　野球は？

兼子　二十四年でしたね。戦後部ができて、私たちより二年下の人が、最高学年で優勝した

湘陽と湘南の決勝戦

司会　湘陽のお話を

蟹江　何回目にでたかな

村田　五回、初代の主任が国体の第一回大会が西の宮であった。当時の交通、経済事情から、西日本の学校、東日本から一校西の宮

香川　四代目が安倍先生

香川　四代目が安倍先生あの時でしょ。県下の蹴下の蹴球決勝戦が湘南

蹴球・野球の全国制覇

司会　今のクラブを皆は校友会と称したですね

五十嵐　蹴球は校技だった

湘陽

（赤木先生筆）

（旧図書室—旧寄宿舎二階）

（第1回湘友会総会　大正15年）

（校舎全景と校庭—昭和6年）

（創立当時の校舎と藤沢の町）

年月日

大正 六、六、九　文部省より設立認可。神奈川県立湘南中学校と称す。

一〇、四、五　赤木先生校長に補さる。藤沢小学校校入学選抜。

一〇、四、一六　校舎一棟（旧中館）、小使室竣工。

一〇、四、一七　始業式。教師六名、生徒二三名

一〇、四、一〇　開校式、祝賀式。（本日をもって創立記念日に）　校友会設立

一〇、四、一八　本館、雨天体操場（旧剣道場）落成。

一一、四、一八　帽子と白線をつけることに決定

一一、六、一　関東大震災。校舎破損（一〇月一日授業開始）

一二、四、一　全校運動時間設定

一二、四、八　講堂、理科館、寄宿舎（後の図書室、食堂）、柔道場落成

一二、一〇、一六　県下中学校剣道大会に初優勝

一二、一〇、二五　第一回卒業式。湘友会設立。英語、数学の分割授業実施（英語、数学を二十五名ずつに分割）

一三、四、一　同授業、後には物理、図画等もあげ、昭和一六年まで続く

一三、四、一〇　一校時を復習考査日に定め、昭和四年、終戦直後まで続けた

一三、一〇、一五　県下英語暗唱弁大会に優勝

一三、一〇、一八　校旗制定（宮岡周蔵氏寄贈）

一四、九、一七　弓道場落成（宮岡周蔵氏寄贈）

一四、四、一〇　校舎、立弁敬園、和洋館、食堂、理科館（天分発揮、勤勉力行、質実剛健）

一四、四、一　表協同、勤勉力行、質実剛健

一四、四、一完　（後に敬神斉家、種正秋中を加えた校訓に配して）調育目標とした）制定

一四、七、一五　御大典記念プール起工

一四、七、一六　プール竣工

一四、一〇、一　排球蹴球部新設

一四、一〇、一　作業競技会　運動場第二次拡張工事完成（二一八坪）

一四、一〇、三五　創立一〇周年記念式典並に祝賀式。

一五、一、一一　歌制定

一五、一、一四　北原白秋作詩

一五、一、一四　山田耕筰作曲

一五、一、一四　中庭に花壇、池を作る。（後に春秋園と名づく）

一五、一、一三　校技部第一回県下優勝（一八年まで）

一五、一、一五　体育館竣工（創立十五周年記念事業）

一五、一、一六　蹴球初の甲子園出場

一五、一、一六　文部大臣より体育優秀校として表彰をうける

一五、一、一六　湘陽中等の時改称

一五、一、一六　英語教育に第一回図書賞をうく

一五、一、一六　蹴球部全国大会に出場、第三位

一五、一、一一　創立二十周年記念式

一五、一、一一　吹奏楽器購入

一五、一、一一　農村動労奉仕始まる

一五、一、一二　滑空訓練甲組新設

一五、一、一二　湘陽の学校設立

一五、一、一二　工場勤員出動始まる

一五、一、一二　湘陽中学廃校

一五、一、一二　終戦（九月一日より授業開始）

湘友会

（大福帳）

（島森）

慢撃をまぬかれた藤沢

石川　先生の思い出話を

石川　分割授業だったの

石川　分割考査のもとは、

石川　われわれの時代

石川　昭和三年だと思いますが、土曜日午後の全校マラソンが廃止になり、自由

石川　われわれの頃はなかったの

石川　われわれの結果を見て、急に変えたんだな（爆笑）

石川　記録によると、昭和三年から欠課考査が始まって、初めの一学年は、火曜日参観がつめかけて……

戸川　僕たちの時は、良くできた上から十人位に鉛筆

浪人山

司会　浪人山のお話を

戸川　おやじがお官立を受けはたったって、ほかは受けさせなかった。

兼子　蒸留度があって、上から三位落ちて来て、三人位落ちて行くから、蒸引ゼロ（笑）

蟹江　「心せよ、校外飲食」

村田　「グレ」です。ガ

蟹江　「グレ」とは……」

グロとエロとは……」

エロがエロチズム（笑）

（二回）が戸塚の娘で何人

「グレとエロとはおさらの事、先生は「心せよ」を

「試み」とおなした（笑）

香川　銀座通りを通れとい

香川　銀座通りを通るよう

になったのは終戦前後。

心せよ校外飲食

司会　買いて食いはうるさかった

五十嵐　それとカンニング

兼子　蒸留度があって、上から三位落ちて来て、三人位落ちて行くから、蒸引ゼロ（笑）

蟹江　「心せよ、校外飲食

村田　「グレ」です。ガ

エロがエロチズム（笑）

（二回）が戸塚の娘で何人

「グレとエロとはおさらの事、先生は「心せよ」を

「試み」とおなした（笑）

香川　銀座通りを通れとい

香川　銀座通りを通るよう

になったのは終戦前後。

カンニング

司会　今のクラブを皆は校友会と称したですね

五十嵐　蹴球は校技だった

蹴球・野球の全国制覇

司会　通学にも蹴球部員は

蟹江　駅伝で常さんは

蟹江　「心せよ」、校外飲食

村田　「グレ」です。ガ

エロがエロチズム（笑）

（二回）が戸塚の娘で何人

「グレとエロとはおさらの事、先生は「心せよ」を

「試み」とおなした（笑）

香川　銀座通りを通れとい

香川　銀座通りを通るよう

になったのは終戦前後。

湘陽と湘南の決勝戦

司会　湘陽のお話を

蟹江　何回目にでたかな

村田　五回、初代の主任が

国体の第一回大会が西の宮

であった。当時の交通、経

済事情から、西日本の学

校、東日本から一校西の宮

香川　四代目が安倍先生

香川　四代目が安倍先生

あの時でしょ。県下の

蹴下の蹴球決勝戦が湘南

戦時中の勤労動員

司会　戦時中農村に動員される生徒を前にして、赤木校長が、「ガ〜ンとする品が下がるから」で。

兼子　野球は？

兼子　二十四年でしたね。戦後部ができて、私たちより二年下の人が、最高学年で優勝した

先生と生徒で掘ったプール

五十嵐　プールはわれわれが掘ったの。

兼子　私が五年の時。赤木先生が生徒にはっぱをかけてプールを作ろうと。

石川　われわれが掘ったの。

兼子　最初は、ちょっと先生と生徒の手で。

蟹江　設計は大阪、久保田桑名先生。

司会　昭和三

白線帽子と小倉服

五十嵐　白線が入ったのは、その頃でしたか。

石川　われわれの入った時は、まだ肥溜で。

司会　記録によると、大正十一年四月十日

五十嵐　「日本一の中学生だ……」

創立当時

先生6人に徒生126人

司会　創立当時のもようを一回生の伊原さんから。

伊原　大正十年、校舎ができたのは、第一学期終了の頃でしたか。

石川　われわれの入った時は、まだ肥溜でした。

司会　記録によると、大正十一年四月十日

五十嵐　「日本一の中学生だ……」

汽車が重々しく

五十嵐　汽車をめためたにしてしまったの。

兼子　とても考えられない

五十嵐　とても考えられない

伊原　なかったかな。なかったんですね。そう言えば

蟹江　だから秀才ができた

兼子　期末試験の時は、試験だけで帰れた

石川　われわれの頃はなかった

司会　そんな事から五十嵐上から三位落ちて来て、三人位落ちて行くから、蒸引ゼロ（笑）

蟹江　「心せよ、校外飲食

村田　「グレ」です。ガ

エロがエロチズム（笑）

（二回）が戸塚の娘で何人

「グレとエロとはおさらの事、先生は「心せよ」を

「試み」とおなした（笑）

香川　銀座通りを通れとい

香川　銀座通りを通るよう

になったのは終戦前後。

心せよ校外飲食

司会　買いて食いはうるさかった

五十嵐　それとカンニング

兼子　蒸留度があって、上から三位落ちて来て、三人位落ちて行くから、蒸引ゼロ（笑）

蟹江　「心せよ、校外飲食

村田　「グレ」です。ガ

エロがエロチズム（笑）

（二回）が戸塚の娘で何人

「グレとエロとはおさらの事、先生は「心せよ」を

「試み」とおなした（笑）

香川　銀座通りを通れとい

香川　銀座通りを通るよう

になったのは終戦前後。

カンニング

司会　今のクラブを皆は校友会と称したですね

五十嵐　蹴球は校技だった

蹴球・野球の全国制覇

司会　通学にも蹴球部員は

蟹江　駅伝で常さんは

蟹江　「心せよ

その頃でしたか。

石川　われわれの入った時の話……。

司会　記録によると、大正十一年四月十日、「日本一の中学生」。

五十嵐　定時制、通信教育が二千五百。全くマンモス学校ですよ。

司会　昔さんでアピール。

石川　定時制は、五百名足らず在学、その中女子は二百名。九十名が勤労者や、家業を手伝っている。社会的に恵まれている、湘南のプライドもっている。一年浪人して東大に合格したのもいる。

石川一成　学校へ来るとのびーっとするし、勉強室へばいになる。級生徒がおしかる。先生又よく面倒を見てやるんですね。

村田　定時制の卒業生は、金融界で就職試験をうけられない。伊原先生受けさせ、いろ……。

司会　石川先生通信教育の話を……。

石川一成　レポートを送って、最後に単位試験を受けて卒業。四年間で卒業するのは非常に少い。現在、全日が千二百人（笑）。

司会　赤木先生が勇退された。学制改革が二十三年四月から、定時制通信教育が併設。

蟹江　定時制は、五百名足らず在学、その中女子は二百名。九十名が勤労者や、家業を手伝っている。社会的に恵まれている、湘南のプライドもっている。一年浪人して東大に合格したのもいる。

石川一成　学校へ来るとのびーっとするし勉強室へばいになる級生徒がおしかる。先生又よく面倒を見てやるんですね。

村田　定時制の卒業生は、金融界で就職試験をうけられない。伊原先生受けさせ、いろ……。（笑）

小林　われわれの頃は、十名中七人名。娘一人に紅一点。

司会　石川先生通信教育の話を……。

石川一成　レポートを送って、最後に単位試験を受けて卒業。四年間で卒業するのは非常に少い。現在、全日が千二百人（笑）。

蟹江　設計は大尾、久保田四、五人に一台あって、非常に迷惑した（笑）。使わないでいたときたい。

五十嵐　私は、テレビの新しい番組で「定時制の教室」なんかを考えている。その日の授業が終ったところから、質問をうけたらと。

司会　男女共学。こいでは、ただ一人の証人者小林さん一つ。

小林　俺い入ばっかりで。私一人だけ場ちがいは見たいな気がする（笑）。アプレの生態を見ようという人の為。

司会　男女共学。こいでは、ただ一人の証人者小林さん一つ。

五十嵐　私は、テレビの新しい番組で「定時制の教室」なんかを考えている。その日の授業が終ったところから、質問をうけたらと。

石川　絵の方で会を作っているが、意後会を……。（笑）描いて活躍しているのは、山下大五郎さん（一回）、教育界。

司会　男女共学。こいでは、ただ一人の証人者小林さん一つ。

大尾　久保田

司会　同窓生の活躍を。

石川　湘南の方で会を作っているが、意後会を……。（笑）描いて活躍しているのは、山下大五郎さん（一回）、教育界。

司会　長谷川育の隣の海楽（一七回）……。

学者

司会　教育界ですと、五十嵐先生（八回）、兼子先生（一回）。

兼子　博物の時、顕微鏡が一番いやでしょうね。

木清先輩　専門は図学で女子美術の先生。

寺　専門は図学で女子美術の先生。

司会　学者ですと、富士川先生（一回）、東大の江口朴郎先生（三回）、吉原信男さん（九回）。気象学の柳井雄さん（二七回）。

兼子　名古屋大学に田中者夫（一四回）がおるよ。

鎌倉創　さん（一六回）。

戸川　横浜国大の田九雄二（一六回）。

湯山昭　さん（二六回）。

司会　永井一夫さん（六回）は、学者としても、医者としても有名……。

司会　政治的にも。外国にも行って……。

政界

司会　政界は、今まで余り出なかった。

松岡正二　さん（四回）が、長く県会議長。

石川　日産の大沼さん（旧姓麻生）（三回）がアメリカ。

蟹江　大磯の和田藍雲（一六回）が長くアメリカに。

司会　伊原さんはじめ、海外には多くの方が。

石川　今は、外でいる。

海外に発展

司会　伊原さんはじめ、海外には多くの方が。

石川　日産の大沼さん（旧姓麻生）（三回）がアメリカ。

蟹江　大磯の和田藍雲（一六回）が長くアメリカに。

司会　冨士の征碩君（二回）ニューヨークですね。

南雲忠春　君（六回）が三菱商事からパリー。

司会　気多俊雄君（二五回）は、アメリカの大学を出て、又いってますね。竹内義君（二六回）が西ドイツ。先方も撮っておられるんだから。

ファイトとよい思い出を

兼子　湘南はよい伝統があるが、もっている弱い点。実践開発というか、ファイティングスピリットというかそういう点をプラスしてほしい。後輩にはよい思い出をもって欲しい。

畑　ファイトを高めるあたらしい湘南になれば、勉強さえもされるんだから、羽を伸ばして、バラエティに富んだ生活をしてもらいたい。

月謝を払っている以上

サボれは損

小林　月謝を払っている以上、サボれば自分が損をする。

赤木先生を偲ぶ

松岡　正一

いわゆる湘中型の生徒になろうとはしなかった、なれなかった私は、在学当時の赤木校長の長い訓話や先生方の「鍛強しろ！〜」の檄誌には、時にはむしろ反撥さえ禁じ得なかった。私は、どうも在学中は、湘中という学校は余りなじめなかった。ところが、卒業してみると、母校の良さを「しみ〜」感じるようになった。

私たちを鞭撻しておられた頃の赤木先生は、ちょうどあの私たちと同年輩であったわけである。先生の偉大さに、今更ながら打たれると同時に、身の至らなさに愧じ入っている。

赤木先生については、いろいろの評価の仕方はあろう。私はこう考えている。先生の前半生は、湘南を生むための準備体期間であって、後半生は湘南を生み育てる三十年であったと。先生は、長い体験の上にあぐらをかいて、荏苒日を送る人ではなかった。日に新たな溢れる意欲に燃えて、経営にあたっておられた。だから、お年とは思えない若々しい健康と、考え方を保っておられる。

赤木先生の「日本一」の話が始まると、私たちは又かと思ったものだが、果したであろうか。赤木先生は又この上ない現実主義者でなろうう先生達を生かして、その力を発揮させる手腕を備えておられた。先生の「天分発揮」とは、そういうことであったと思われる。

政治に志して十六年、未熟さをかこっている私が、困難に際して、ふと脳裏に浮かぶのは、赤木先生のことであった。政治も又最も難しい「生きている人」の問題を扱うものである。理想と現実との乖離は、いやという程体験させられた。

今、鉛筋三階建に生まれかわった校舎を背にした先生の胸像の前に立つ時、先生は無言で諭しておられる。深い目で諭しておられる。私のこれからは、先生を範とし、修練を励まし外ではないという気持を強くした。

（鎌倉支部長）

サッカーとともに四十年

岩淵　二郎

先ず湘南サッカー部の年表から、主なる部分を抜き出して見よう。

大正14　県大会二中に敗大敗

15　昭和5　県リーグ戦二位に！！（今度敗）二位

県で優勝したが、東日本の覇者東大会二位、全国大会青部に惨敗

6　関東大会二位、志太中と二日が、

12　山神静代表と試合、御殿師に惜敗して全国大会初出場

14　全国大会で準決退、埼玉師範に敗

15　勝駅峠中に抽籤負

16　関東大会決勝で惜敗

21　関東大会優勝青山師範と記録的第一回全国体優勝

23　第三回国体二位

35　第三回関東大会

36　第優勝　全国大会に出場したが一回戦で優勝校に敗退

右の表で見る様に、チームが出場した翌年は、県リーグ戦全勝、五年、六年には東日本の覇者、相当早く、いこともない。昭和五年から、チームは、青山師範と引分け（当方主将が受験の為欠体となって、四十年の立派な歴史を作りだしたものと信じ

様に、昭和の初めは、強豪揃の時代、続いて熱情の時代、優勝の時代、結局は本校と藤田得利先輩、慶応大、浦和高校に勝ち、昭和十六年関東大会決勝で志太中（現藤枝東高）と第一日延長となり、延長を何回重ねても決せず、日没迫り、遂に五分刈りの入れた者勝ちとなった。

昭和六年大鳥の関五年生を送り出した本校、関東大会決勝で志太中（現藤枝東高）と第一日延長となり、昭和十六年関東大会決勝で、第四回国体二位、第三回関東大会、顧問の先生、理解と援助、特に現校長香川先生の熱たること、第五五、第四に歴代の部長、藤田正喜先輩、優勝の時、島田正喜先輩、優勝の時、慶大、早慶先輩、優勝の時、慶大、早慶先輩、優勝の時、学業人格共に優れたOBが指導したこと、結局の本校の生徒が、気力、知力は本校の相当高い、水準を保持が軍然一これ等が軍然の原動力であったこと、これ等が軍然の原動力であったこと、これ等が軍然の原動力であったこと、